

河川伝統技術名称：**百太郎溝**<sup>みぞ</sup>  
 分類：堰と用水路 年代：18世紀代  
 河川名：球磨川  
 都道府県／地先：熊本県／多良木町他



百太郎溝



百太郎堰（改修されている）



百太郎溝平面図

資料：「す・き・で・す 球磨川（土木編）」、建設省 八代工事事務所

（概要）約 300 年前農民の手によって完成した水路。多良木町松下の球磨川から取水し、岡原町、上村、錦町までの延長約 19km の水路で、灌漑面積 1500ha である。建設当時の百太郎堰は幅 180m、長さ 18m、1.8m 四方の木柱に石を詰めた構造であった。現在、取水口、堰とも全面的に改修されている。堰は何度も洪水でながされたため、堰建設のため人柱をたて、それ以来流される事はなくなった。百太郎は人柱となった男の名。明治以前の球磨地方大事業の一つに数えられる。